

# JSC 通信

No.4. 2000.12.20.

発行 日本スカイクロス協会

編集 山根光子

京都市左京区一乗寺出口町1番地

tel. 075-781-8309 fax. 075-781-8318

E-mail: mani@topaz.ocn.ne.jp

URL: http://www.gakkai.net/skycross

## 特集 各地からの お便り



### 横浜市内 から

竹林孝夫さん

当地には麦田スカイクロスクラブがありまして、毎月2～5回、清風荘その他でプレーしていますが、ノルナーの法則が大変面白く、ゲームの中心的役割を果たしています。特にコーンの近くでは次々に重ってしまい、ひどいときは全員お腹をかかえて笑い転げたこともあります。みんな親しくなるのに最適です。会員の名簿と写真を添えます。

### 鹿児島県 枕崎から

上村正常さん

7月5日に本州最南端の枕崎において、鹿児島県の福祉施設職員117名が集り、シニアジョイフル・スポーツライフ事業の実技研修として、スカイクロスに取り組みました。[ルールも簡単で、とても楽しい]との声が飛び交うなか、参加者は和気相合のうちに楽しい一日でした。当日の写真添付。

### 茨木市スカイクロス支部

木下幸子さん

毎月第1、第3水曜日に市内中央公園で、また毎月第2土曜日に万博記念公園内の月桂樹の丘で、茨木市スカイクロス支部の定例競技会を開催しています。毎回の決まった顔ぶれは17～8名です。茨木市以外からの参加者も加わり、みんなで大笑いしながら仲良く楽しくやっています。

### 滋賀県今津家族旅行村

落川富美子さん

箱館山中腹のピラデスト今津では、はつらつ広場とみどりの広場に、スカイクロスの公認コースが2面用意できています。秋には子供会や老人会が一緒になって、スカイクロス大会をやりました。雪が多いところですから12月から3月末までは閉鎖されます。いちど来て下さい。



### 山形県立総合コロニー

渡辺伸好さん

東置賜郡にある希望が丘で、心身障害者の社会参加助成事業の一環として、11月からスカイクロス・ミニを使いはじめました。屋外だけでなく室内でも、一部では車椅子に坐ったままお互いに投げ合うなど、有効に使いそうです。



### 川西市 から

神田 一さん

当地コミュニティ推進会が中心となってスカイクロスに取り組んでいます。いつもけやき坂公民館の広場で大会を開いていますが、12月9日には、多田東小学校区三世代ふれあい広場を開催したところ、児童30名、長寿者15名を含めて計68名の参加者があって、なかなかの盛況でした。学校の先生やPTAの人たちも加わり、正規のノルナーの他にも自分等だけの独特のローカルルールを決めてやりました。とても賑やかに楽しく、大成功でした。(写真27枚添付)



### 阿蘇ケント牧場から

白谷浩人さん

熊本県の観光地、阿蘇山大観峰に近く、ミルクロードから少し入ったところに10万坪のケント牧場があります。その一部にスカイクロス公認コースを常設しました。乗馬もグラススキーも出来ます。放牧された山羊の群と戯れ、大草原の中でスカイクロスしたあとは、バーベキューハウスで地鶏の炭火焼きが待っています。熊本空港を利用すれば日帰り観光も。



### 福知山市遊学応援隊

角 規一さん

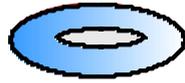
昨年「福祉レク研」をつくり、そこから「遊学応援隊」へと飛躍させて参りました。よく遊びよく学ぶをモットーにする遊学応援隊では、さっそく高齢者いきいき創造、助成事業としてスカイクロスに取り組みたいと考えました。今後の予定として、11/11を第1回目とし、年度内にはあと2回程度取り組み、平成13年度には当福知山地方でもブームを起こしたいと思っています。その節には何かとご指導くださいますよう。



(11/11の集まりはあいにく京都で開催された全国大会と重なったために、残念ながら大会には参加して頂けませんでした)

## 北海道 函館から

鈴木恵子さん



鈴木農園の丘陵地で美しいスカイクロスが空を飛んでいます。観光バスに乗ってやって来る子供達が喜んで夢中になっています。

(カラフルなテントを背景にディスクを投げる幼児の写真が印象的)

## 兵庫県 篠山市矢代から

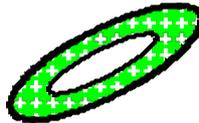
吉田等司さん



人と自然が共生する丹波の森のエコロジカルリゾート・ユニトピア ささやまは、昭和45年に松下電器産業労働組合の結成25周年記念事業として建設された休暇村です。そこでは毎月第4金曜日午前9時からスカイクロス定例競技会を催していますが、組合員以外の方にも解放しています。10月17日の練習大会にはお年寄り100人が挑戦して、ルールが簡単で誰でもすぐ参加できると大好評でした。当日の様子は翌日の朝日新聞、毎日新聞、産経新聞に写真入りで掲載されています。

## 京田辺市から

松岡武男さん



——前略—— 当地は静かな山里で、野良仕事は体の使い方が片寄っておりますので、適度なスポーツが望ましく、また特にみんなでするスポーツは心の健康にも大切なことと思います。この度スカイクロスを体験して伸び伸びと爽快な気分を味わうことが出来ました。——中略—— 体に合った色々な応用が利きますので、誰でも入って行けそうに思います。これを機会に皆さんのスポーツへの興味を誘いたいと思っております。

(普賢寺年輪クラブでの講演に対する会長礼状)

## 埼玉県 坂戸市から

小谷野和枝さん



——前略—— 11月7日、小学校5年生親子レク(120名)を開催しました。みんな笑顔でプレイしてくれておりました。保護者からも楽しかったという声を多く聞かれ、やって良かったと思いました。——中略—— もっと多ぜいの人達に生涯スポーツを普及させていきたいと強い思いを感じました。私自身も楽しんでしまった為、写真を撮る事を忘れてしまいました。スカイクロスに出会わせて下さった上尾スポーツ研修センター(\*)の方達と万井先生に心から感謝致します。

(\*:9月12日、埼玉県上尾市埼玉県立スポーツ研修センターにおいて平成12年度体育指導委員中央研修会で「スカイクロスの指導法」を講演)

## 山口県 下関市から

松隈 協さん

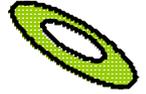


——前略—— 当地の女学院において仲間作り、コミュニケーションの持ち方を学ぶためのキャンプのプログラムとして、スカイクロスを使いたいと思っています。キャンプに入る前のオリエンテーションで、スカイクロスの説明をしたいと考えています。

——後略——

## 八代市 高専の先生から

佐藤泰生さん



——前略—— このところ青少年が会話下手になってきました。「対面無言症候群」という熟語が生まれるほどです。これには大人の側が倦むことなく話し掛け、会話の楽しさ、言葉の大切さに気付かせることが大切であろうと思います。スカイクロスを手にして、「学生との対話のキッカケになる小道具を見つけた。」という嬉しさで、これを寮の運動オンチ、会話オンチの学生諸君の誘い出しに使ってみようと考えています。——後略——

## 滋賀県 体育指導委員協議会から

8月19日、20日の2日間にわたり、平成12年度滋賀県体育指導委員研修会を開催しましたところ、延べ712名が深い感動を残し、無事終了できました。特に、スカイクロスの実技指導では、参加者アンケートでも満足度は高い結果となってあらわれていました。——後略——

## 京都市 村松児童館から

妻形八重子さん

老人会主催のスカイクロス競技会は毎月第2水曜日の午後1時半からです。

## 和歌山 教育委員会から

伊都地方体育協会

来る2月6日に当方生涯スポーツ担当者7名が、京都岡崎公園まで研修に参ります。よろしく。

註：去年夏に和歌山県粉河町からも、教育委員会の担当者

5名が京都ふれあい会館の例会へお越し頂きました。

遠路はるばるご苦労様です。みんなで歓迎いたします。

## 協会本部から

今後も月3回の例会を続けます。第3日曜日午後1時30分から京都ふれあいの里。第1、第3火曜日午前10時から京都岡崎公園で従来どおりです。

## 編集後記



本号では紙面の都合で、いただいたお便りの一部しか掲載できなくて残念でした。ご協力下さった多くの皆様に感謝とお詫びを申し上げます。